

# 令和元年度 亀山市廃棄物減量等推進員(ごみダイエットサポーター)活動報告

令和元年 6月17日(月) 18:00~、20日(木) 13:30~

## 第1回ごみダイエットサポーター会議を開催しました。

会議は、多くのサポーターに参加いただけるよう、2回に分けて開催しました。

今回は、昨年度1年間の亀山市のごみの処理状況等をお話し、今後、サポーターの皆さんに、ごみの減量について啓発いただく時期や方法(広報、イベント等)を具体的にお伝えしました。

今年度も、ごみの減量に向けて、御協力いただきます。

令和元年 8月1日(木)

## 広報かめやま 8月1日号に、ごみ減量体験談を掲載しました。

広報かめやまにごみダイエットサポーターの北崎さんの体験談が掲載されました。

生ごみを減らすため、生ごみ処理容器を活用されています。

**“水切り”以外の方法も!**  
生ごみ処理容器を使って生ごみを減量してみよう!

生ごみ処理容器を使って生ごみを堆肥に変えることで、より生ごみを減量することができます。  
できた堆肥を家庭菜園やガーデニングに活用して、生ごみリサイクルに取り組んでみませんか?

◆市では、家庭用生ごみ処理容器購入費の一部を補助しています。

交付対象者 次のいずれにも該当する人

- 市内に住所を有し、容器を購入し、当該容器を市内に設置した人
- 周辺に悪臭等の迷惑がからないように維持管理を徹底し、堆肥の活用を図ることができる人
- 市税などに滞納がない人

※ただし、営業用の場合は交付の対象外

交付対象処理容器

- ぼかし ●コンポスト ●手動かくはん式処理容器
- 電機かくはん式処理容器

補助金額 設置に要した額の1/2(上限25,000円)  
※100円未満の端数は切り捨て

詳しくは、環境課廃棄物対策グループへお問い合わせください。

**ごみは生活の中で必ず出るもの。一人ひとりが減量の意識をもって、みんなでごみを減らそう!!**

**ごみダイエットサポーター体験談!!**

市の補助制度を活用し、生ごみ処理容器を購入されたごみダイエットサポーターの北崎亜紀さんに使用した感想をお聞きました!  
北崎さんご夫妻

**いつから使っているの?**  
シーゼン: 10年くらい前から、バケツ式の生ごみ処理容器を使用しています。  
北崎さん

**どうしてバケツ式にしたの?**  
シーゼン: 電気式も使用していましたが、たくさん入れるとうまく分解しませんでした。家の裏に畑があったのでバケツ式を置いてみることにしました。  
北崎さん

**どうやって活用しているの?**  
シーゼン: 主に野菜や果物の生ごみを入れています。卵の殻はうまく分解しますが、鳥や魚の骨は分解しにくいので一般ごみに出しています。  
北崎さん

**使ってみてどう?**  
シーゼン: バケツ式のコンポストは、生ごみをたくさん入れることができ便利です。夫と活用しています。皆さんも活用してみたいかですか?  
北崎さん

令和元年 9月1日(日) ~

## ごみダイエットサポーターが1名増えました。

ごみダイエットサポーターを1名(男性)へ委嘱しました。(追加)

現在のサポーターは女性が多いのですが、男性の立場からのご意見を期待してます。

令和元年9月24日(火) 10:00~、18:00~

第2回ごみダイエットサポーター会議を開催しました。

午前と夜の2回に分けて開催しました。

環境関係の計画の改定等に向け、本市が今後取り組むべき環境課題、必要な施策及び実施すべき事業について検討する際の資料を作成するため、意見を出し合いました。

令和元年10月13日(日)、11月4日(月・祝)

ワークショップに参加しました。

環境課環境創造グループ主催の、環境関連計画の改定等のための第1回及び第2回ワークショップに参加しました。

温暖化関係、生物・植物関係等、廃棄物関係以外のグループに入り、ごみダイエットサポーターとしてだけでなく、一市民として様々な内容を話し合いました。

令和元年11月17日(日)

『食の祭典 市民の集い』でごみ減量のための啓発活動を行いました。

『食の祭典 市民の集い』にて、ごみダイエットサポーターさんと一緒に「食品ロス削減に関するチラシ」と「水切りごみ袋」約600セットを配布しました。

このイベントは、出展者も来場者も亀山市民が多く、ごみダイエットサポーターさんと知り合いの方がたくさんいらっしゃいました。そのため、ごみ減量についてたくさんお話することができ、よい啓発活動になりました。



令和元年11月29日(金)~12月12日(木)

ZTV「マイタウンかめやま」にて、食品ロス削減の啓発を行いました。

ZTV「マイタウンかめやま」の情報BOXにて、食品ロス削減啓発に係る番組が放送され、その中で、ごみダイエットサポーターの中野滋さんと村居誠祐さんが、自身が行っている食品ロス削減のための取組を紹介しました。



日頃から買い物に行く前に冷蔵庫を良く確認し、無駄な買い物をしないようしています。



外食をする時、食べ残しを防止するために食べる量を考え注文しています。

令和2年2月17日(月)18:00~、20日(木)10:00~

### 第3回ごみダイエットサポーター会議を開催しました。

午前と夜の2回に分けて開催しました。

ごみを減量するために、市が検討しているごみの分別方法や施策に対し、市民(排出者や集積所管理者)の立場から貴重なご意見をたくさんいただきました。

これらの意見も参考にし、市民、行政、収集業者、リサイクル業者等それぞれの立場を考えて検討を重ねていきます。



令和2年2月26日(水)

### 食品残渣のリサイクル業者を見学しました。

ごみダイエットサポーター4名(男性1名、女性3名)も一緒に有限会社三功第一リサイクルセンター(津市久居)にて、食品残渣を堆肥にリサイクルする様子を見学しました。



(有)三功は、亀山市の大手スーパー及びコンビニの売れ残り等も引き取っています。この「食品循環資源の堆肥化事業」は、単独では利益につながりませんが、社会貢献を目的として行っているものです。私たち消費者も、企業のリサイクル活動に任せるだけではなく、食品ロスを減らすよう努める必要があります。

### ごみダイエットサポーター 感想

#### N・Sさん(60代男性)

大型スーパーやコンビニ、学校給食、病院等から出る食品残渣をリサイクルしている様子を見学しました。

そこで、食品残渣のリサイクル(堆肥化)には非常にお金がかかるため、この事業だけを見ると利益はあまりないことを知りました。多くの企業が利益を追求する中、社会貢献を目的として行っていることは本当に素晴らしいと思います。

私たちごみダイエットサポーターも日頃から、冷蔵庫の中の食品の消費期限等に気を付け、食品ロスを少なくすることで、社会貢献をしたいと思います。

#### M・Mさん(70代女性)

今回の見学は、廃棄した食品廃棄物が幾多の工程を経て、再利用の製品に加工され、消費者の手元に戻ってくる、食品循環資源リサイクル・ループの仕組みを知る大変貴重な機会となりました。現在のリサイクル技術の高度な進歩に敬服するとともに、私自身の食品の無駄を反省いたしました。

今後は、「冷蔵庫にメモ用紙を貼り、購入が必要なものを書き出すことで、余分な食品の購入を避ける」など、工夫を続けることで、自身の生活における食品の無駄を省かなくてはと気を引き締めました。